

様式2 厚木市報道資料		発 信 日	
 (式典、催し、大会等)		令和6年12月24日	
厚木市制 70 周年記念事業 書家・金澤翔子さん席上揮毫・記念映画上映			
1	主 催	厚木市制 70 周年記念事業実行委員会	
2	日 時	令和7年2月1日 14時～16時	
3	場 所	厚木市文化会館・大ホール（恩名 1-9-20）	
4	概 要	70周年を迎える市制記念日を祝うため、書家として全国で活躍する金澤翔子さんを招き、席上揮毫のパフォーマンスと、映画の上映を実施します。 （1）席上揮毫 14時10分～ 金澤さんが大ホールのステージで、大判の用紙にダイナミックに書を披露。 （2）映画上映 14時30分～ ドキュメンタリー映画「共に生きる 書家金澤翔子」を記念上映。	
5	PRしたい内容、セールスポイント、前回との違いなど	【金澤翔子さんプロフィール】 東京都出身。5歳の時、書家の母から教わり書を始める。現在は、国内外で個展などを開き活躍。代表作「共に生きる」を合言葉に、障がいがある人や、被災地支援などでも活動している。 ・開場は13時30分で、定員1,400人（先着順）。 ・費用は無料で、申し込みも不要です。 ・来場者全員に、障がい者就労施設の皆さんが作成した、市制70周年記念グッズをプレゼントします。	
6	添付資料	チラシ	
7	本資料の問合せ先	部課名	企画部 企画政策課（課長 占部 正子）
		電 話	（046）225－2456

席上揮毫・映画「共に生きる」書家金澤翔子 記念上映



書家 金澤翔子



2025年2月1日 午後2時～
(開場 午後1時30分～) 土

※ご来場の方にオリジナルグッズプレゼント（障がい者就労施設の皆さまが作製）

厚木市文化会館 大ホール 厚木市恩名1-9-20

主催 厚木市制70周年記念事業実行委員会

開会 午後2時
席上揮毫 午後2時10分
映画上映 午後2時40分

▼詳しくはHPから



事前申し込み

不要

入場料

無料



—ドキュメンタリー映画—

「共に生きる 書家金澤翔子」記念上映

監督：宮澤正明

出演：金澤翔子 金澤泰子



母娘が歩んだ涙と幸せの38年間

NHK大河ドラマ「平清盛」の題字を担当するなど、今や天才書家と呼ばれるようになった金澤翔子は、5歳から母・泰子を師として書道を始め、純粋な心で揮毫する彼女の“書”は数多くの人々を魅了してきた。彼女の代表作の一つである「風神雷神」は、京都の建仁寺で国宝・俵屋宗達の「風神雷神」の屏風に並んで書が納められ、日本のみならず国連でのスピーチやニューヨークやプラハでの個展開催など世界的な活躍を見せている。生まれてすぐにダウン症と診断された彼女に母である泰子がどう向き合ってきたのか、どうやって彼女の才能を開花させていったのか、金澤翔子が書家として一流の舞台まで上り詰めるまでにはいくつもの努力と挑戦、そして母・泰子の支えがあった。映画ではそんな彼女たちの日々の活動に密着して金澤翔子と母・泰子が共に生み出す“書道”と彼女たちの幸せの形に迫る。



書家・金澤翔子さんプロフィール

東京都出身。書家。5歳から書家である母に師事し書始める。

伊勢神宮や東大寺を始めとした日本を代表する神社仏閣で奉納揮毫や個展を開催。ローマ教皇来日に伴いバチカンに大作「祈」を寄贈。

愛媛県美術館や福岡県立美術館、上野の森美術館、森アーツセンターギャラリーなど多くの有名美術館でも個展を開催する。

国外ではアメリカ、イギリス、チェコ、シンガポール、ブラジル等の世界各地で個展や公演を開催し大きな反響を呼ぶ。

東日本大震災後に発表した自身代表作「共に生きる」を合言葉に、被災地への応援や、障害者支援など共生社会実現に向けた活動にも継続的に取り組んでいる。

2013年、紺綬褒章を受章。

【主な活動実績】

- 2011年 NHK 大河ドラマ「平清盛」題字制作担当
- 2013年 東京国体開会式で巨大文字「夢」揮毫(5m×5m)
- 2014年 上皇陛下御製を謹書(天皇御在位中)
- 2015年 ニューヨーク国連本部の国際会議で日本代表スピーチ
- 2017年 上野の森美術館で個展開催 8日間で4万人の来場を記録
- 2019年 ローマ教皇来日に伴いバチカンに大作「祈」を寄贈
- 2020年 東京オリンピック公式アートポスター「翔」制作
- 2023年 イギリス公演 ロンドン/リッチモンド 席上揮毫・作品展示
- 2024年 国立青少年教育振興機構アンバサダー就任

